

# **JR室蘭線 調査事業・実証事業 実施報告書**

**令和6年1月**

**JR室蘭線活性化連絡協議会**  
(岩見沢市、栗山町、由仁町、安平町、苫小牧市、JR北海道)

◇目的

JR室蘭線をはじめ、鉄路と並行するバス路線も含めた地域の公共交通全体の維持と、利便性の向上に向け、沿線住民の利用ニーズ等を的確に把握するために必要な調査等を実施する。

1. 沿線住民アンケート調査の実績と効果

調査目的

室蘭線沿線の公共交通（鉄道・バス）利用状況と、利用者ニーズを把握し、今後の公共交通のあり方を検討する。

(1) 沿線住民調査

室蘭線沿線5自治体において、住民基本台帳から無作為抽出した満18歳以上の男女計800人を対象に調査を実施。自治体が保有する宛名データを印字した封筒に調査表、返信用封筒、鉄道・バスの共通時刻表を同封し、郵送により実施した。また、調査票に掲載のQRコードから回答専用サイトからの回答も可能とした。

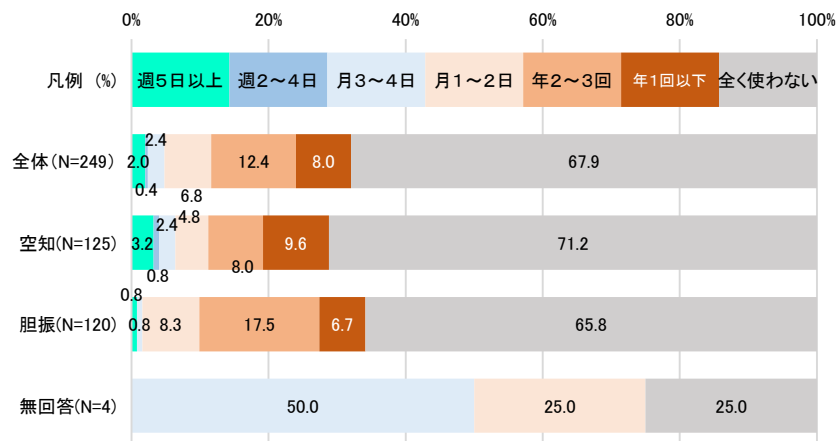
配付:8月8日 回答期限8月31日

配付数:800通 回答数253通(郵送219通、WEB34通) 回収率31.6%

沿線自治体別配付・回収結果

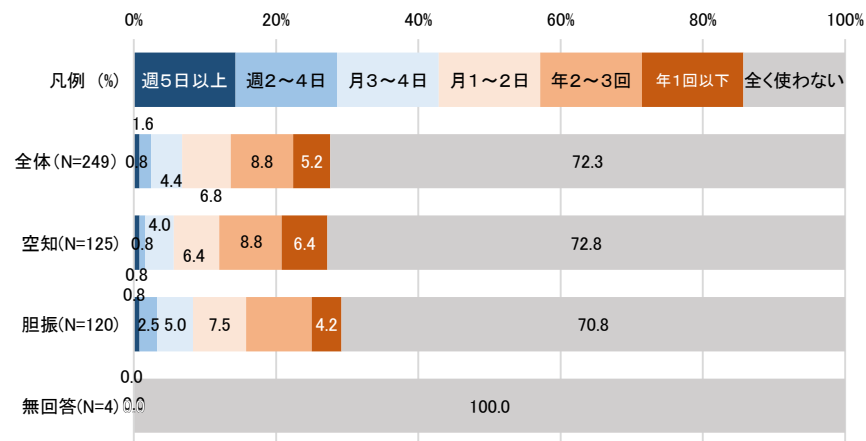
市町	配付数	回答数	回収率
岩見沢市	160	37	23.1%
栗山町	200	52	26.0%
由仁町	90	36	40.0%
安平町	150	67	44.7%
苫小牧市	200	53	26.5%
不明	—	4	—
計	800	249	31.1%

《JRの利用頻度》



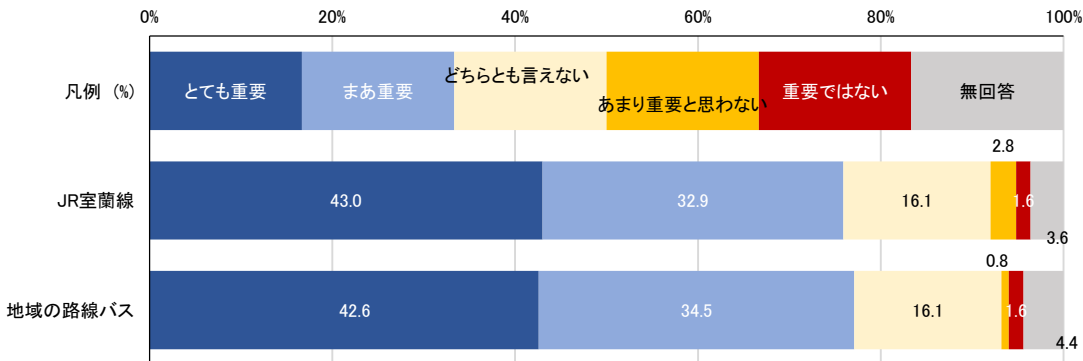
● 日常的な利用（週2日以上）の割合は、2.4%と少なく、約68%が全く使わないと回答。  
 【JRを利用しない理由169件中 複数選択可】  
 ・車の方が自由に動ける134件（79%）  
 ・以前から乗る習慣がない41件（24%） ⇒ 岩見沢、苫小牧で約3割を占める

《バスの利用頻度》



● 日常的な利用（週2日以上）の割合は、2.4%と少なく、約72%が全く使わないと回答。  
 【バスを利用しない理由180件中 複数選択可】  
 ・車の方が自由に動ける131件（73%）  
 ・以前から乗る習慣がない47件（26%） ⇒ 岩見沢、苫小牧で3割を超える

### 《JR・バスの重要度》



●重要(とても重要+まあ重要)の割合は、《JR室蘭線》で約76%に上り、《路線バス》でも約77%と、公共交通の重要度を認識しているという結果となっている。

■その他

年代別・居住地別でみると、室蘭線では大きな差異はみられないものの、バスの重要性については、岩見沢、栗山など空知管内で高い割合を示している。

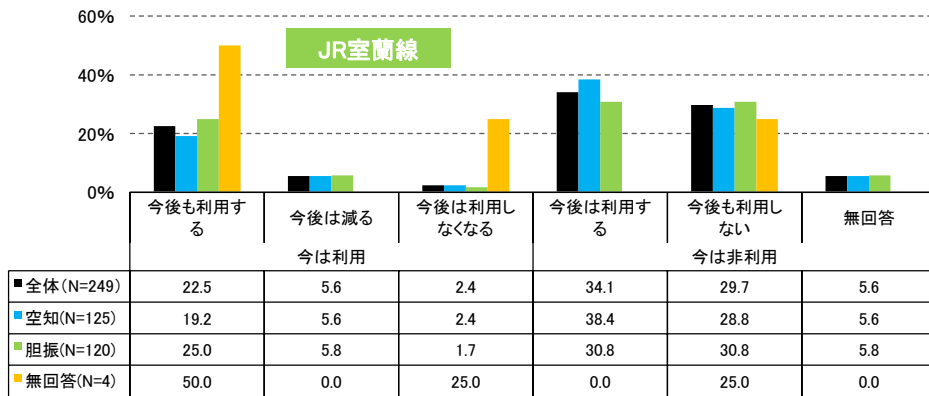
【JRが重要な理由189件中 複数選択可】

- ・高齢のため107件(79%) ⇒居住地別で差異なし
- ・通学のため105件(56%) ⇒3町で6割を超える
- ・なくなると地域がさびれるため(53%) ⇒胆振管内で約6割示す

【バスが重要な理由192件中 複数選択可】

- ・通院のため108件(56%) ⇒岩見沢市で7割超え
- ・通学のため95件(50%) ⇒由仁、栗山で約5割を示す
- ・なくなると地域がさびれるため(42%) ⇒約4割でJRほどの高さは示さなかった。

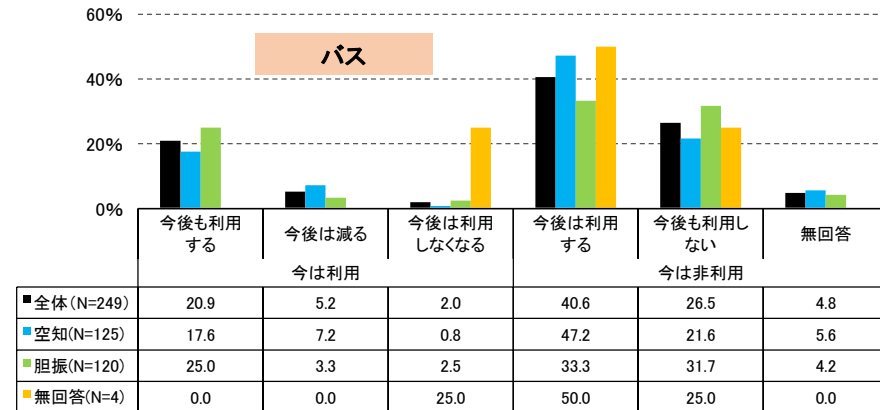
### 《JRの今後の利用意向》



●「今後、利用回数が減っていく」「今後は利用しなくなる」の計約8%の意向により、利用全体は目減りするものの、「今後も利用する」と「今後は利用するようになる」の割合計は、約57%を示しており、これから利用しようとする意識が高い。

●居住地別でみると、「今後も利用する」が岩見沢市で3割を超え、「今後は利用するようになる」が由仁町、栗山町で4割を超えるなど、空知で高い傾向となっている。

### 《バスの今後の利用意向》



●「今後、利用回数が減っていく」「今後は利用しなくなる」の計約7%の意向により、利用全体は目減りするものの、「今後も利用する」と「今後は利用するようになる」の割合計は、約62%を示しており、これから利用しようとする意識が高い。

●居住地別でみると、「今後も利用する」が苫小牧市で3割強を示すほか、「今後は利用するようになる」が由仁町、栗山町で5割を超えるなど、空知で高い傾向となっている。

検証を踏まえた  
今後の方向性

JR室蘭線は通学を除き日常的な利用は少ないものの、約76%が通院や通学などの面で重要性を認識されており、約57%が「今後、利用する」との意向を示していることから、引き続き沿線住民の生活の足を確保していくため、マイレール意識の醸成を図る取組みや利用促進に向けた取組みを推進していく。

(2) 高校生調査

室蘭線沿線に所在の高等学校16校を対象として、調査表、返信用封筒、鉄道・バスの共通時刻表を、封筒に同封し、各学校を通じて通学生への配付を実施。また、道教委より道立高に対し、JRより市立・私立高に対しそれぞれ書面により周知等の協力を依頼。

配付:9月5日 回答期限9月20日

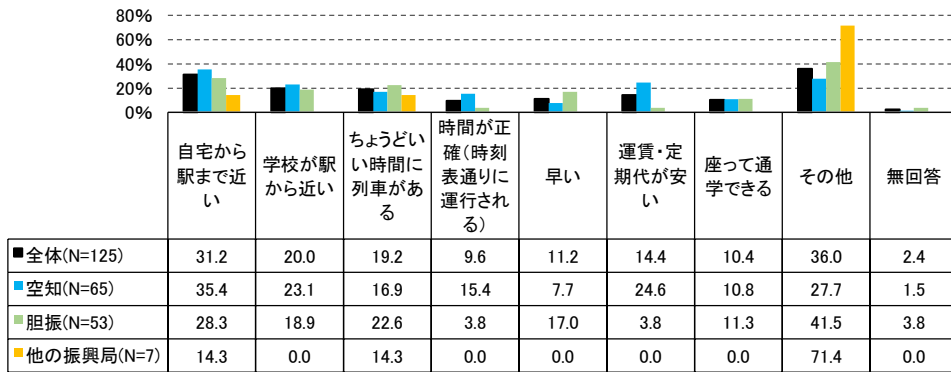
配付数:480通 回答数125通(郵送55通、WEB70通) 回収率26.0%

※調査依頼先としていない鶴川高校から回答1件を含む

高校生調査配付一覧

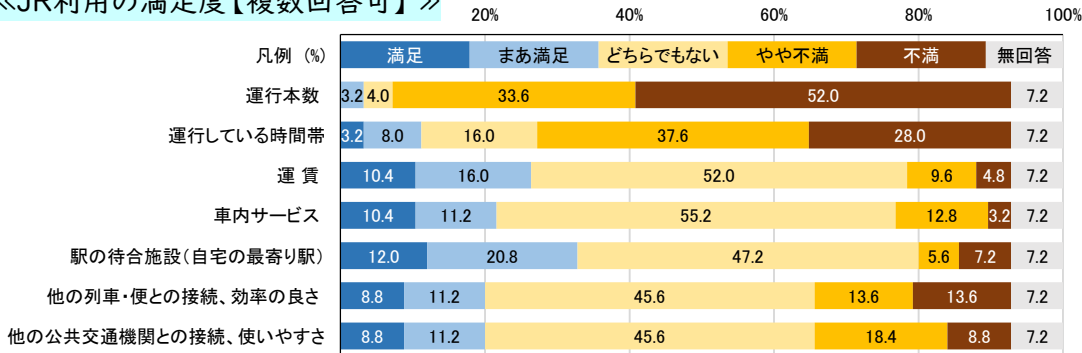
学校名	配付数	回答数	回収率	学校名	配付数	回答数	回収率
岩見沢東高	70	16	22.9%	苫小牧西高	40	17	42.5%
岩見沢西高	50	8	16.0%	苫小牧南高	15	12	80.0%
岩見沢農業高	40	13	32.5%	苫小牧工業高	25	0	0.0%
岩見沢緑陵高	65	32	49.2%	苫小牧総合経済高	10	1	10.0%
栗山高	10	0	0.0%	苫小牧中央高	10	0	0.0%
追分高	30	7	23.3%	駒大苫小牧高	40	9	22.5%
厚真高	10	3	30.0%	苫小牧高商高	10	0	0.0%
苫小牧東高	45	6	13.3%	苫小牧高専高	10	0	0.0%

《JRを利用する理由【複数回答可】》



- 「自宅から駅まで近い」(31%)「学校が駅から近い」(20%)「ちょうどいい時間に列車がある」(19%)が主たる要因となっている。
- 居住地別でみると、「運賃や定期代が安い」(14.4%)の理由においては、岩見沢市(7件)や由仁町(14件)となっており、それぞれ5割程度と高い割合を示している。また、苫小牧市11件の回答のうち、「ちょうどいい時間に列車がある」を理由にあげている割合が5割を超えている。
- その他  
利用する時間帯について、行きの列車では7時台が73%と最も高く、6時台が26%となっている。帰りの列車では19時以降が43%と最も高く、16時台でも30%となり部活動等により利用は分散している。

《JR利用の満足度【複数回答可】》



- 満足(満足+やや満足)が不満(不満+やや不満)を上回るのは、運賃、車内サービス、駅の待合室/自宅最寄り駅のみで、そのほかは不満割合の方が上回っている。特に運行本数、運行時間帯に関する不満が大きい。
- その他  
運行本数、運行時間帯に関する不満にいずれの地域でも高く差はみられない。岩見沢市や苫小牧市では、運賃に関する不満が皆無である一方で、駅の待合施設に関する不満が大きい。また、他の公共交通機関との接続、使いやすさを不満については、2市に比べ3町で共通して高い割合(安平41%、由仁36%、栗山26%)を示している。
- JR以外にバス通学も可能かについては、空知77%、胆振30%と大きく分かれた。それでもJRで通学している理由としては定期代が安さ(66%)や希望時間帯に運行(32%)があげられている。

検証を踏まえた今後の方向性

通学生のJR利用の満足度において、運行本数に関する不満度が86%、運行時間に関する不満度が66%となっており、いずれも満足度を大きく上回っていることから、JRと並行して運行するバス事業者等と相互に利便性を補完し、利用者の満足度を高められる仕組みの構築や連携した取組みに対し協力・支援していく。





◇目的

日高線と室蘭線が連携して、カードラリーを実施することにより観光への付加価値を高めるとともに、JR北海道で、札幌圏において、土日祝に発売するフリーきっぷ「一日散歩きっぷ」利用者を対象としたバス連携事業を実施することによる回遊性向上と札幌圏からの誘客により、鉄道利用促進の可能性を探る。

1. ご当地カードラリー事業

(1) ご当地カードラリー事業の実績と効果について

◇対象区間 JR室蘭線(岩見沢駅~沼ノ端駅)

◇事業内容 室蘭線・日高線利用者を対象にカードラリー事業を実施し、カードラリー参加者は、沿線のカード配布施設を有料利用することにより、1利用で1枚のカードを受け取ることが出来る。デザインが異なるカードを3枚集め、あびら町道の駅又は、むかわ町道の駅で、利用者意向調査への協力を前提として、プレミアムカードを進呈するとともに、特産品抽選への参加権を付与する。

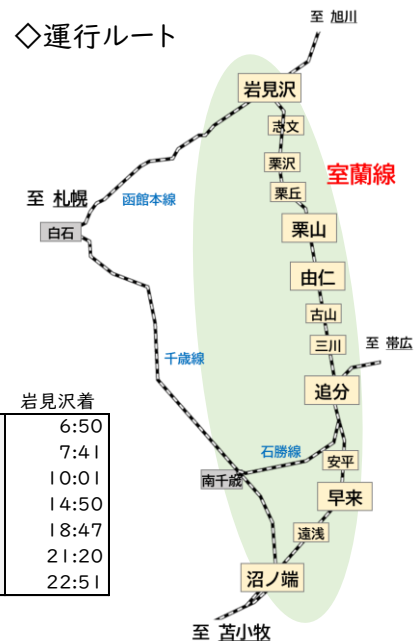
◇実施期間 7月29日(土)~9月30日(土)

◇運行ダイヤ

上り 岩見沢 ⇒ 沼ノ端						
岩見沢発	栗沢	栗山	由仁	追分	早来	沼ノ端着
5:57	6:10	6:20	6:26	6:46	7:00	7:16
9:03	9:15	9:26	9:32	9:59	10:13	10:29
12:45	12:57	13:08	13:14	13:34	13:46	14:01
15:05	15:18	15:28	15:34	15:55	16:08	16:23
16:37	16:50	17:01	17:07	17:28	17:40	17:56
19:38	19:51	20:02	20:09	20:29	20:41	20:55
21:32	21:45	21:55	22:01	22:24	22:36	22:51

下り 沼ノ端 ⇒ 岩見沢						
沼ノ端発	早来	追分	由仁	栗山	栗沢	岩見沢着
-	-	6:02	6:20	6:27	6:37	6:50
6:17	6:31	6:47	7:05	7:12	7:25	7:41
8:45	9:00	9:13	9:32	9:38	9:48	10:01
13:35	13:49	14:05	14:22	14:28	14:38	14:50
17:22	17:36	18:02	18:19	18:25	18:35	18:47
20:04	20:18	20:35	20:52	20:58	21:07	21:20
21:37	21:52	22:06	22:24	22:29	22:39	22:51

◇運行ルート



◇カード種類 岩見沢市2種類(岩見沢駅、栗沢駅)、栗山町1種類(栗山駅)、由仁町1種類(由仁駅)、安平町3種類(早来駅、追分駅、プレミアム(道の駅用))、苫小牧市2種類(苫小牧駅、沼ノ端駅) 計9種類



### ◇カードラリー参加店舗

各沿線自治体の飲食店や観光施設等に対し、乗車券等の確認やカード配付等、事業の協力を依頼した。

【岩見沢駅カード】6店舗	「クラモチコーポレーション」「レストランコロナ」「オムライス屋さん喫茶タッチ」「ベーカリー風花風花～huka huka～」「赤いリボン めーぷる倶楽部」「ESPRESSO STAND PLATS岩見沢本店」
【栗沢駅カード】3店舗	「antenna coffe」「Aコープ栗沢店」「飲み食い処 哲平」
【栗山駅カード】5店舗	「さわや」「(株)美津輪商会」「コーヒーショップ tomorrow」「食の工房 はらへー太」「前田菓子補」
【由仁駅カード】4店舗	「食事処 まるやま」「YUNI-FACTORY」「(株)てらさわ」「東京ホルモン」
【追分駅カード】2店舗	「道の駅あびら D51ステーション」「安平町 ぬくもりの湯」
【早来駅カード】2店舗	「安平町物産館」「鶴の湯温泉」
【沼ノ端駅カード】6店舗	「アブロス沼ノ端スポーツセンター」「いなかそばごっつ庵.拓勇店」「ブックカフェ豆太」「ラーメンダイニングぽっばや」「やきとり工場沼ノ端店」「大正浪漫焼肉金剛園ろまん亭」
【プレミアムカード配付】	道の駅あびら D51ステーション（安平町）

### 《カード引換実績》

自治体	岩見沢市	栗山町	由仁町	安平町	苫小牧市	計
枚数	117枚	133枚	31枚	206枚	164枚	651枚

### ◇宣伝物の展開

カードラリー事業及び沿線観光情報を掲載したリーフレット及びポスターを制作し、札幌圏並びに沿線市町で展開した。

ラリーカード 名刺サイズ ミラコート4C+1C 9種類×600枚  
 札幌圏用ポスター B1サイズ コート/135kg 40部  
 沿線用ポスター B2サイズ コート/135kg 110部  
 パンフレット A4-4P コート/90kg 20,000部



【パンフレット】

【札幌圏・沿線用ポスター】

### ◇特産品プレゼント

異なる3種のステーションカードを集めたカードラリー参加者を対象に、アンケート調査への協力を条件として、抽選により特産品を進呈した。

#### 《特産品プレゼント配付実績》

自治体	岩見沢市	栗山町	由仁町	安平町	苫小牧市	計
品目	エゾ鹿 ジンギスカン	とうきび たまご	東京ホルモン	道の駅D51 鉄道グッズ	ネピアティッ シュ等セット	
配付実績	10件	10件	10件	12件	10件	52件

※プレゼント対象者数 52人

プレゼント応募者数 55人(⇒同一人物からの複数回申込は1回限りとした)

プレゼント応募資格者数(=プレミアムカード引換者数) 63人(⇒応募資格者数63人のうち、8人は応募を辞退。)

### (2) ご当地カードラリー事業の目標達成状況について

◇目標設定 JR室蘭線の1日あたりの平均利用者数の3%を目標値として設定。

◇対象期間 7月29日(土)~9月30日(土)の64日間

(当初予定は7月1日から9月30日までの92日間としていたが、事業調整等により開始に遅れが生じた)

◇捕捉方法 プレゼント応募資格者数(安平町D51ステーションにおけるプレミアムカード引換者数)

でカウントする。



【プレミアムカード】

指標	目標値の算出根拠	目標値	実績値	達成状況
プレミアムカード引換件数	72人/日(1日あたり平均利用者) × 3% × 64日 ※1日あたり平均利用者=栗山・由仁間の定期外利用人員	138人	63人	未達成

#### 【未達成となった要因】

- ① 多くの誘客が見込まれる夏休み期間中に入ってからの開始となったため、必要な対象者に必要な情報が届けにくくなった。
- ② パンフレット内で、カードデザインや特産品の内容、店舗情報など、訴求できる内容を掲載するスペースを確保しなかった。
- ③ ファミリー層にとっては、特産品の内容に訴求することが不十分であったほか、鉄道愛好家にとってはカードデザインに新規性・プレミアム性がなく、魅力に欠けるものであった。
- ④ 抽選順位に応じた特産品の差別化や抽選条件の多様化など、リピート意欲を高めるための企画力が不足していた。
- ⑤ プレミアムカード進呈者が予想以上に少なかったため、バスの利用を一体としたモデルコースの周知・展開が不足していた。
- ⑥ 企画から実施まで短期間で事業を実施したため、関係機関の本取組の意義・認識の浸透が不足していた。



## 2. 路線バスとの連携事業（一日散歩きっぷ）

(1) 一日散歩きっぷの事業実績と効果について

◇対象区間 JR室蘭線(岩見沢駅～沼ノ端駅)

◇事業内容 札幌圏からの誘客促進のため「一日散歩きっぷ」(土日祝に札幌圏で発売)所有者に対して、日高線・室蘭線と並行するバスに無料で乗車できる仕組みを構築し、回遊性を高める。

◇実施期間 7月29日(土)～9月30日(土)の土日祝日

◇連携事業者 ・中央バス 岩見沢栗山線・岩見沢由仁線・岩見沢長沼線(岩見沢ターミナル～由仁駅前間)  
・あつまバス 苫小牧線(苫小牧駅～早来駅前)

◇路線バスのダイヤ

【中央バス】

◇運行ルート

【あつまバス】



【中央バス】



岩見沢栗山線 (美園経由) ■  
 岩見沢栗山線 (教大経由) ■  
 岩見沢由仁線 ■

【中央バス】										
路線	200円	300円	400円	500円	600円	700円	800円	900円	1,000円	1,200円
岩見沢ターミナル	6:44	6:49	6:54	7:00	7:11	7:26	7:36	7:47	7:52	8:04
市立病院前	7:10	7:15	7:20	7:26	7:37	7:54	8:04	8:11	8:16	8:28
大	8:45	8:50	8:55	9:01	9:12	9:27	9:37	9:43	9:48	9:54
志文団地	9:05	9:10	9:15	9:21	9:34	9:49	9:59	10:05	10:10	10:18
駒園8丁目	9:45	9:50	9:55	10:01	10:14	10:29	10:39	10:45	10:50	10:58
上幌向駅	10:15	10:20	10:25	10:31	10:44	10:59	11:09	11:15	11:20	11:28
岩見沢ターミナル	10:45	10:50	10:55	11:01	11:14	11:29	11:39	11:45	11:50	11:58
岩見沢ターミナル	11:25	11:30	11:35	11:41	11:54	12:09	12:19	12:25	12:30	12:38
市立病院前	12:55	13:00	13:05	13:11	13:24	13:39	13:49	13:55	14:00	14:08
大	13:35	13:40	13:45	13:51	14:04	14:19	14:29	14:35	14:40	14:48
志文団地	14:35	14:40	14:45	14:51	15:04	15:19	15:29	15:35	15:40	15:48
駒園8丁目	15:35	15:40	15:45	15:51	16:04	16:19	16:29	16:35	16:40	16:48
上幌向駅	16:35	16:40	16:45	16:51	17:04	17:19	17:29	17:35	17:40	17:48
岩見沢ターミナル	17:25	17:30	17:35	17:41	17:54	18:09	18:19	18:25	18:30	18:38
市立病院前	17:55	18:00	18:05	18:11	18:24	18:39	18:49	18:55	19:00	19:08
大	18:05	18:10	18:15	18:21	18:34	18:49	18:59	19:05	19:10	19:18
志文団地	18:35	18:40	18:45	18:51	19:04	19:19	19:29	19:35	19:40	19:48
駒園8丁目	19:35	19:40	19:45	19:51	20:04	20:19	20:29	20:35	20:40	20:48
上幌向駅	20:35	20:40	20:45	20:51	21:04	21:19	21:29	21:35	21:40	21:48

【あつまバス】

【あつまバス】										
停留所/経由	早来	日経金	日経金	日経金	日経金	早来	日経金	日経金	日経金	早来
苫小牧線・沼ノ端線	真	6:45	8:10	9:05	10:10	12:40	14:15	15:38	17:00	19:00
苫小牧線	北進	6:58	8:22	9:17	10:22	12:52	14:27	15:51	17:12	—
沼ノ端線	中学校前	6:58	8:22	9:17	10:22	12:52	14:27	15:51	17:12	19:10
沼ノ端線	はだしの広場	6:59	8:23	9:18	10:23	12:53	14:28	15:52	17:13	—
沼ノ端線	小学校前	7:00	8:24	9:19	10:24	12:54	14:29	15:53	17:14	—
沼ノ端線	大町	7:00	8:24	9:19	10:24	12:54	14:29	15:53	17:14	—
沼ノ端線	早来駅前	7:04	8:28	9:23	10:28	12:58	14:33	15:57	17:18	19:15
沼ノ端線	栄	7:07	8:31	9:26	10:31	13:01	14:36	16:00	17:21	—
沼ノ端線	さつき団地前	7:08	8:32	9:27	10:32	13:02	14:37	16:01	17:22	—
沼ノ端線	新栄	7:08	8:32	9:27	10:32	13:02	14:37	16:01	17:22	—
沼ノ端線	早来	7:09	8:33	9:28	10:33	13:03	14:38	16:02	17:23	—
沼ノ端線	東	7:10	8:34	9:29	10:34	13:04	14:39	16:03	17:24	—
沼ノ端線	遠浅公民館前	7:12	8:36	9:31	10:36	13:06	14:41	16:05	17:26	19:23
沼ノ端線	遠浅駅前	7:13	8:37	9:32	10:37	13:07	14:42	16:06	17:27	—
沼ノ端線	アイリスタウン前	7:14	8:38	9:33	10:38	13:08	14:43	16:07	17:28	—
沼ノ端線	遠浅	7:28	8:39	9:34	10:39	13:09	14:44	16:08	17:29	—
沼ノ端線	沼ノ端駅前(西)	—	—	—	—	—	—	—	—	19:36
沼ノ端線	苫小牧駅前	9:12	10:12	11:12	13:47	15:22	—	—	—	18:02
沼ノ端線	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20:00

### 一日散歩きっぷ (JR北海道)

土日・祝日限定で、道央圏のフリーエリアの普通列車・快速列車の自由席に1日間自由に乗り降りできる一日券。

(購入日のみ利用可能)

○価格 : 大人2,540、小人1,270円

○販売場所: 札幌圏の主要駅37駅

フリーエリア



小樽駅、南小樽駅、小樽築港駅、銭函駅、星置駅、手稲駅、稻積公園駅、発寒駅、発寒中央駅、琴似駅、桑園駅、札幌駅、苗穂駅、白石駅、厚別駅、森林公園駅、大麻駅、野幌駅、高砂駅、江別駅、幌向駅、岩見沢駅、八軒駅、新川駅、新琴似駅、篠路駅、拓北駅、あいの里教育大駅、当別駅、平和駅、新札幌駅、上野幌駅、北広島駅、島松駅、恵み野駅、恵庭駅、千歳駅

◇対象路線バスの実績

バス事業者へは、利用者数の集計報告に基づき、事前に調整した算定方法に基づき金額を精算した。

《路線バス乗車実績》

事業者	7月	8月	9月	計	区間	精算額の算定方法
北海道中央バス	1人	25人	41人	67人	岩見沢ターミナルから由仁駅前	実乗車区間の普通運賃額で精算
あつまバス	1人	10人	12人	23人	苫小牧駅前～早来駅前	1人当たり520円×乗車人員で精算
計	2人	35人	53人	90人		

(2) 一日散歩きっぷの目標達成状況について

◇目標設定 JR室蘭線の1日あたりの平均利用者数の10%を目標値として設定。

◇対象期間 7月29日(土)～9月30日(土)の土日祝日の21日間(1日散歩きっぷの発売日数)  
(当初予定は7月1日から9月30日までの92日間としていたが、事業調整の都合により開始に遅れが生じた)

◇捕捉方法 一日散歩きっぷ誘客による室蘭線の土日祝日乗客数でカウントする。

※購入者数はJRで把握できるが(期間中道全域で5,293枚の売上)、室蘭線の利用状況の把握が不可能なため、路線バス事業者の乗車実績により、以下の仮定のもと推計することとする。

①一日散歩きっぷを購入する者は室蘭線乗車を前提とし、バスを利用するものと考えられる。

②アンケート結果によると、購入者は岩見沢、苫小牧両駅を起点に室蘭線を利用していると考えられることから、バス利用については、周遊時間の関係上、中央バスと、あつまバスの併用を想定しない。

③1日で回遊することを前提とし、岩タ～由仁間及び苫小牧駅～早来駅間で、各々1人あたり2回の利用があったものとする。

⇒①～③をもとに利用実績を2で除し、切り上げカウントし、以下の通りとする。

中央バス(7月:1人 8月:13人 9月:21人 計35人) +あつまバス(7月:1人 8月:5人 9月:6人 計12人) =47人

指標	目標値の算出根拠	目標値	実績値	達成状況
一日散歩きっぷ誘客による室蘭線の土日祝日乗客数	72人/日 × 10% × 21日間 ※1日あたり平均利用者=栗山・由仁間の定期外利用人員	151人	47人	未達成

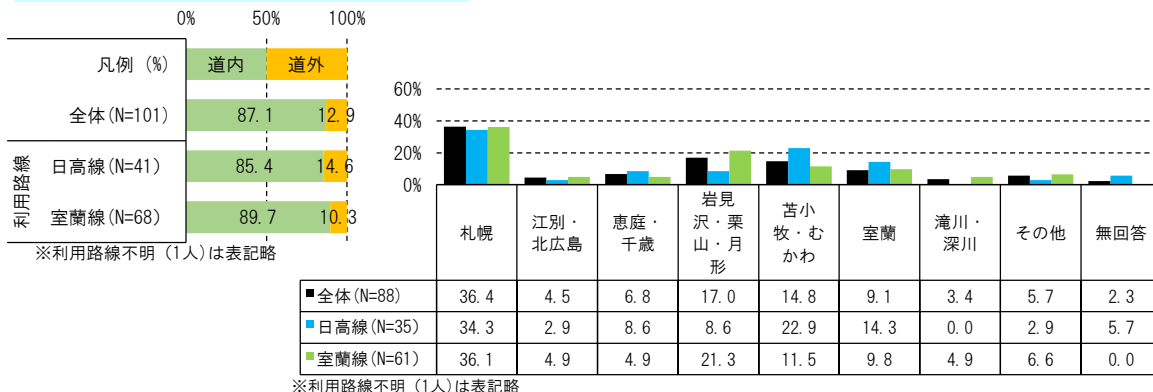
【未達成となった要因】

- ①多くの誘客が見込まれる夏休み期間中に入ってから開始となったため、必要な対象者に必要な情報が届けにくくなった。
- ②JR札幌駅など誘客の中心となる施設等における周知が不足していたほか、観光施設をはじめ、室蘭線車両内や連携するバス事業者の車内での周知が不足していた。
- ③専用ホームページの構築など、WEB展開による情報発信ができなかった。
- ④各所に掲示のポスターにQRコードを設けるなど、タイムリーできめ細かな情報発信ができなかった。
- ⑤沿線で開催されるイベントや行事を絡めた情報発信の媒体が室蘭線FB、インスタのみの対応となり発信が不十分であった。

## 3. ご当地カードラリー（室蘭線・日高線）の参加者アンケート調査結果

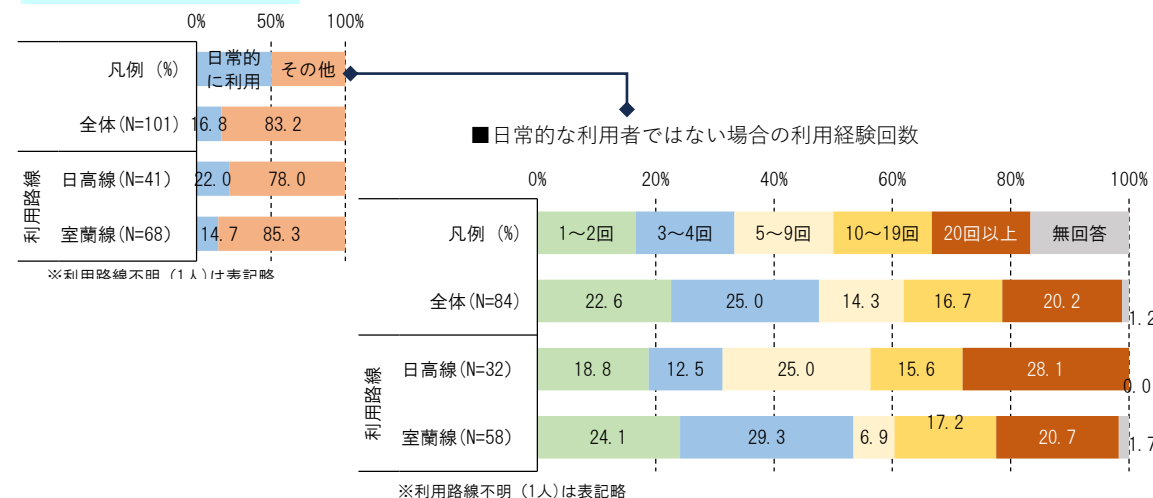
- ◇調査目的 室蘭線2市3町(岩見沢市、栗山町、由仁町、安平町、苫小牧市)及び日高線1市3町(苫小牧市、白老町、厚真町、むかわ町)が連携して実施した「ご当地カードラリー事業」について、観光による鉄道利用促進の可能性を探るために実施。
- ◇実施期間 7月29日(土)～9月30日(土)の64日間
- ◇調査方法 道の駅「D51ステーション」(安平町)及び道の駅むかわ「四季の館」(鷓川町)において、カードラリーのプレゼント応募資格者を対象に公共交通の利便性や本企画に関する調査を行い、鉄道利用促進効果について調査を実施。
- ◇アンケート集約結果 63件

### 《カードラリー事業参加者の居住地》



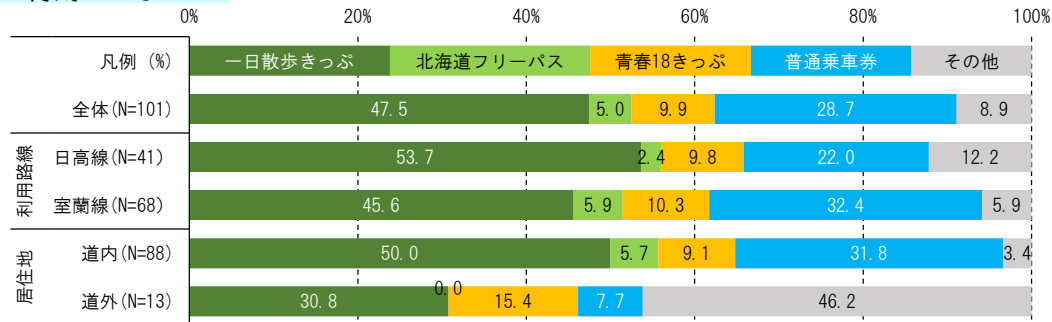
- 道内からの参加者87%のうち、約4割が札幌市在住者(36%)で最も多く、岩見沢市・栗山町(17%)、苫小牧市・むかわ町(15%)が続いている。
- 道外からの参加者(13%)の居住先は東京都や埼玉県などほぼ首都圏で占められている。
- その他  
参加者の87%が日帰りの利用であるほか、同伴者の有無については、一人旅が65%、子どもを含む家族連れが19%、夫婦・カップルが10%となっている。

### 《室蘭線の利用頻度》



- 参加者の15%が室蘭線を日常的に利用。残りの85%は今回のご当地カードラリー事業参加によって利用喚起されているとみられる。
- 日常的な利用がない方のうち、これまでの利用回数別によると、3～4回が29.3%と最も多いほか、10回以上が38%を占めるなど、利用経験のある方の関心の高さがうかがえる。

### 《利用したきっぷ》



※利用路線不明 (1人)は表記略

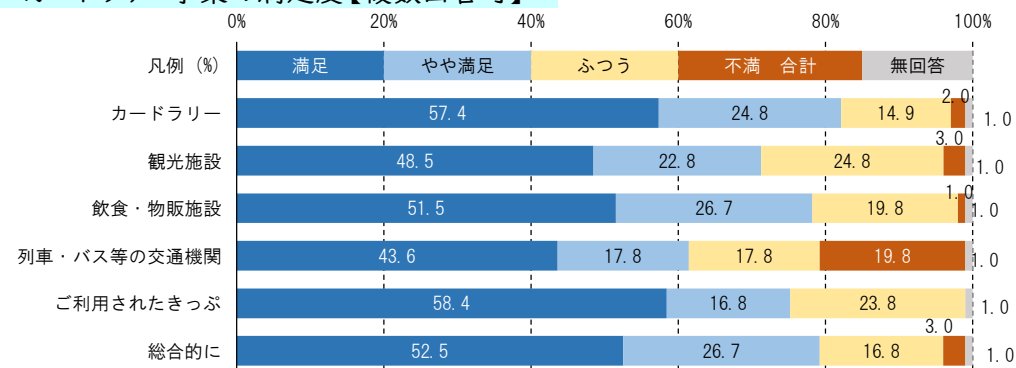
●参加者の46%が、一日散歩きっぷを利用しての参加。普通乗車券の参加者(32%)も一定数占めている。

■その他

今回の参加目的については、ステーションカード集めが87%で最も多く、列車・バスの乗車が35%で続く。飲食店利用や買い物はいずれも10%台にとどまっている。

また、来訪施設については、プレミアムカードの配付先である道の駅あびらが最も多く、栗山町や苫小牧市の飲食店や観光施設で一定の利用があったものの、岩見沢市、由仁町の利用は少なかった。

### 《カードラリー事業の満足度【複数回答可】》



●満足を示す割合(満足+やや満足)がほとんど分野で高く示しており、総合的にみても約8割を占めている。

●分野別で見ると、カードラリー企画や利用されたきっぷ、飲食・物販施設に関する満足度が高く示されている。

●列車・バス等の交通機関に関する満足度が相対的に低く、不満割合も高いため、列車の運行本数の少なさや二次交通としてバスとの接続などへの不満が要因であると推察される。

## 4. 実証事業の経費

項目	取組内容	項目	予算額	決算額	差引	補助対象経費	補助対象外経費	備考
日高線・室蘭線連携の観光による鉄道利用促進	ご当地カードラリー事業(一日散歩きっぷ含)	カード・宣伝物等	857,588	809,408	48,180	809,408	0	日高線と折半
		特産品プレゼント等(通信運搬費含)	450,000	156,330	293,670	156,330	0	
		アンケート調査費用	297,000	275,000	22,000	275,000	0	日高線と折半
		契約書印紙(上記、調査業務委託契約書)	0	100	-100	0	100	
		1日散歩きっぷバス乗車精算費用(中央バス)	140,000	35,390	104,610	35,390	0	
		契約書印紙代(上記、中央バスとの覚書)	0	200	-200	0	200	
		1日散歩きっぷバス乗車精算費用(あつまバス)	130,000	11,960	118,040	11,960	0	
		契約書印紙代(上記、あつまバスとの覚書)	0	200	-200	0	200	
観光による鉄道利用促進事業計			1,874,588	1,288,588	586,000	1,288,088	500	

検証を踏まえた今後の方向性

「一日散歩きっぷ」等によるバス事業者と連携した今回の取組みは、札幌圏はもとより、鉄道ファンや利用頻度の高い層など幅広い利用があり、企画内容についても高く評価される一方で、二次交通との接続など利便性や回遊性を高める視点が不足していた。そうした視点と共に、札幌圏から近距離にある沿線の優位性を活かし、沿線観光素材や地域施設、イベント等との連携による誘客施策を検討していく。



◇目的

JR定期券利用者を対象とした沿線のバスに無料で乗車可能とする取組により、公共交通全体でフリークエーションを向上させ、増発効果による利便性を図り、通学・通勤以外の日常利用での利用促進を図る。

## 1. モーダルミックス事業

(1) モーダルミックス事業実績について

- ◇対象区間 JR室蘭線(岩見沢駅～沼ノ端駅)
- ◇事業目的 JR定期券利用者を対象とした沿線のバスに無料で乗車可能とする取組により、公共交通サービスの利便性向上による利用促進効果の把握及び課題等の検証を実施。
- ◇実施方法 あつまバスと連携し、バス乗車の際に「整理券」をとり、有効な「通学定期券・通勤定期券」と「整理券」を降車の際に乗務員に提示することで利用可能とする。
- ◇実施期間 7月29日(土)～9月30日(土)
- ◇対象定期券 「追分=安平=早来=遠浅=沼ノ端」のいずれかの駅間を含む室蘭線の通学・通勤定期券
- ◇対象路線バス あつまバス(苫小牧駅前～早来駅前)※上厚真経由を除く  
 安平町循環バス(道の駅～追分駅前～遠浅駅前～早来源武)※平日のみ運行  
 ※当初予定していた中央バスは賛同を得られず未実施。  
 バス乗務員が、JR定期券で路線バスを乗車した旅客数を集計し、事業終了後に運賃精算。

《バス乗車実績》

事業者	7月	8月	9月	計	区間	精算の算定方法
あつまバス	0人	77人	174人	251人	沼ノ端駅前～早来駅前	1人当たり520円×乗車人員で精算
安平町循環バス	0人	0人	0人	0人	道の駅～追分駅前～遠浅駅前～早来源武	
北海道中バス	未実施					

◇宣伝物の展開

高校生を中心とした定期券利用者にモーダルミックス事業の周知を図るため、宣伝物を作成し、関係駅及び学校等に配付した。

- 沿線用ポスター B2サイズ コート/135kg 70部
- リーフレット A4サイズ コート/90kg 2,000部



【沿線用ポスター】



### 3. モーダルミックスによる鉄道利用促進

#### (2) モーダルミックス事業の目標達成状況

- ◇目標設定 JR室蘭線定期券の利用者の10%を目標値として設定。
- ◇実施期間 7月29日(土)～9月30日(土)の平日(43日間)
- ◇捕捉方法 あつまバス株式会社によるJR定期券利用実績により捕捉(安平循環バスの利用実績はなし。  
※当初予定していた空知方面が未実施となったため、目標値の算出基礎であるJR室蘭線定期券の月当たり平均利用者について、補正が必要⇒393人を108人(R4年度苫小牧方面実績値)に補正。

指標	目標値の算出根拠	目標値	実績値	達成状況
沿線定期券の利用者数	108人(苫小牧方面:月あたり平均利用者)×10%÷10人 10人×43日間=430人 ※指標については平日日数での設定としている	430人	251人	未達成

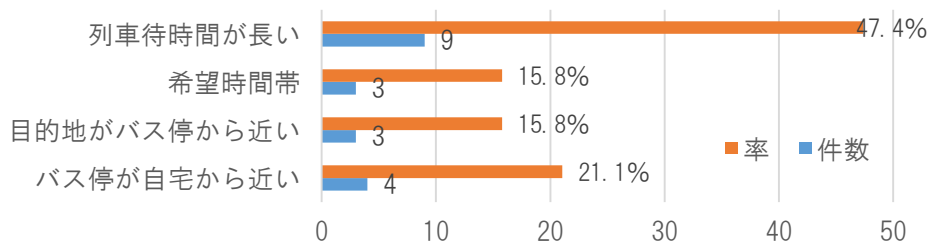
#### 【未達成となった要因】

- ①事業開始時期が、すでに高等学校夏季休業期間に入っており、通学のコアな期間が限定されたほか周知が十分に図られなかった。
- ②高等学校を通じた情報周知依頼については、学生に対して利便性や具体的な効果を伝えるツール等がなかった。
- ③WEBアンケートの協力告知が不足していたほか、アンケート回答を誘発するインセンティブがなかった。

#### (3) WEBアンケート調査結果について

- ◇調査目的 モーダルミックス事業の効果検証に資するため、本取組におけるバスを利用した満足度等について、アンケート調査を実施することで、本事業の鉄道利用促進効果や利便性向上効果について検証するために実施。
- ◇実施期間 7月29日(土)～9月30日(土)の64日間
- ◇対象 JR定期券(通勤・通学)を所持し、モーダルミックス対象のあつまバス(苫小牧駅前～早来駅前・安平町循環バス)並びに道南バス(苫小牧駅前～鶴川駅前)を期間内に使用した利用者
- ◇調査方法 本事業のポスター及びリーフレットに二次元コードを掲載し、WEBによる調査を実施。
- ◇アンケート集約結果 19件

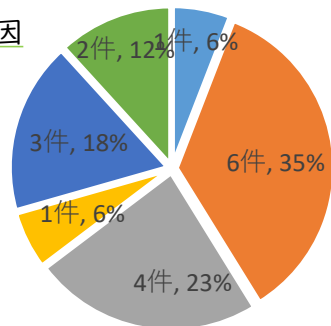
#### 《バスを利用した理由》



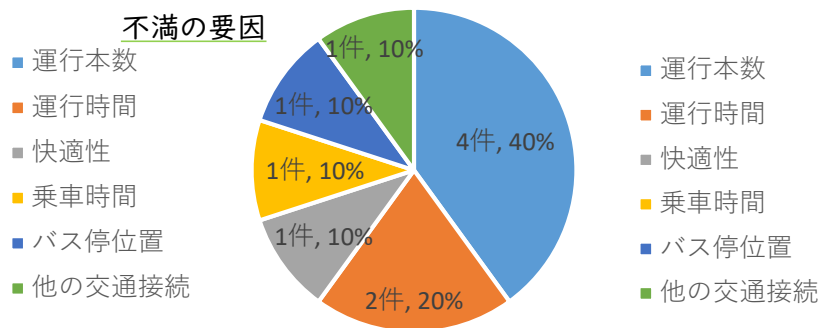
- 利用された理由としては「列車待ち時間が長い」「希望時間帯」で約63%を占め、本実証事業によりフリークエンシーが向上し、増発効果が、利用に影響を与えたものと推定される。
- その他  
バスを利用した満足度についても「満足」「まあ満足」が68%を占め、利便性等が評価されたと考えられる。

## 《事業の満足度》

満足の要因



不満の要因

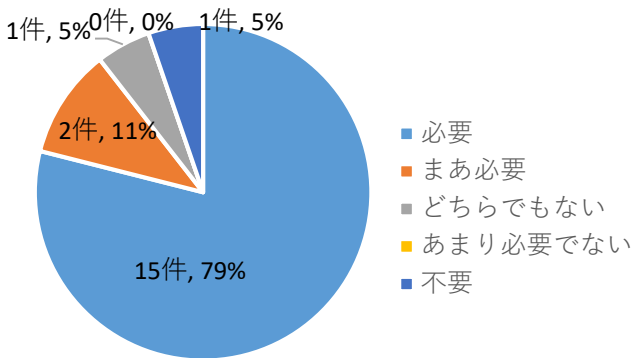


●「満足」と「やや満足」と評価した要因【複数回答可】をみると、「運行時間帯」35%、「車内快適性」23%、「バス停位置」18%となっており、フリークエンシー向上やバス停近くで乗りやすいことが評価されている。

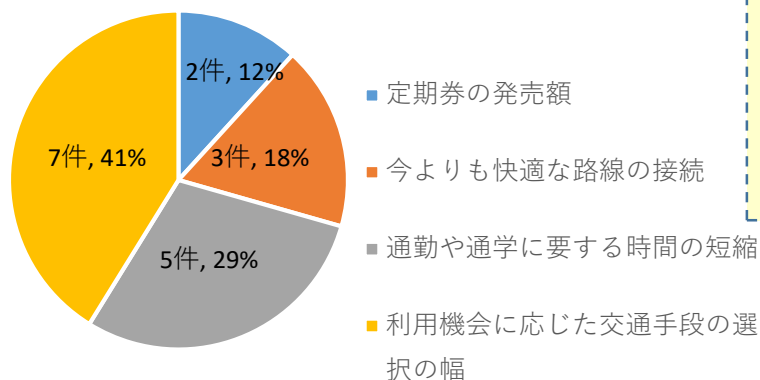
●「どちらでもない」「やや不満」「不満」と評価した要因【複数回答可】では、「運行本数」が最も多い。

## 《事業の必要性》

定期券で複数の交通機関を利用できる仕組み必要性



仕組みづくりで重要と考えること



●「必要」と「まあ必要」を合算すると90%となっており、今回の実証事業により、利便性向上を認識いただけているものと推測できる。

●利用機会に応じた交通機関の選択肢や所用時間の短縮が求められている結果となっている。

## 3. 実証事業の経費

項目	取組内容	項目	予算額	決算額	差引	補助対象経費	補助対象外経費	備考
モーダルミックスによる鉄道利用促進	JR定期券利用者のバス乗車可能な取組	宣伝物ポスター	194,150	96,938	97,212	96,938	0	日高線と折半
		宣伝物チラシ	0	39,133	-39,133	39,133	0	日高線と折半
		定期券バス乗車精算費用(あつまバス)	750,000	130,520	619,480	130,520	0	
モーダルミックス事業計			944,150	266,591	677,559	266,591	0	

検証を踏まえた今後の方向性

JRと路線バスが利用できる共通定期券の取組みにより、待ち時間や希望する乗車時間、移動時間の短縮などのニーズに対応することで、利用者の79%が定期券で複数の交通機関を利用できる仕組みを必要としていることから、公共交通全体でフリークエンシーを向上させ、通勤・通学の利便性を高めていくための取組みについて、交通事業者等と検討を進める。